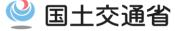
令和5年住生活総合調査結果(確報集計)のポイント(1/3)



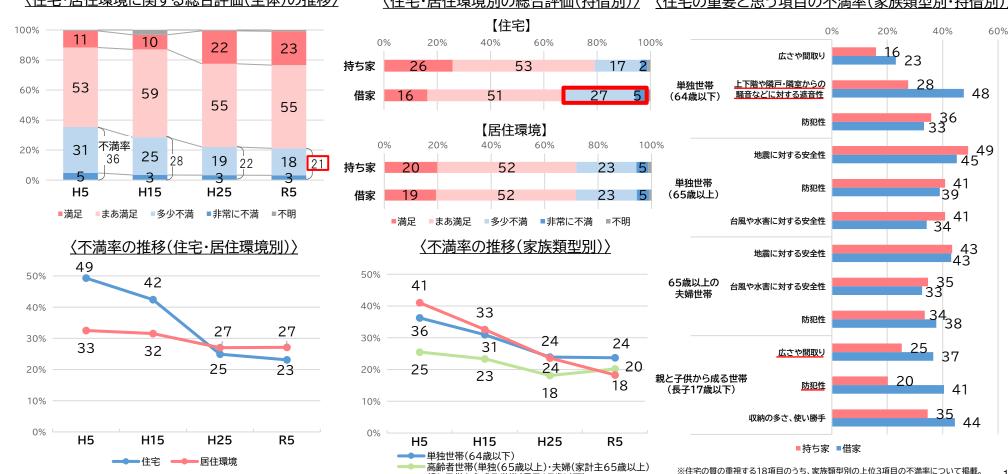


- ①「住宅・居住環境」に関する総合評価は、10年前と比べて概ね横ばいで推移。「住宅」の不満率は引き続き低下した一方、「居住環境」の不 満率は10年前と比べて横ばい。
- ②借家の「住宅」に関する不満率が高い。また、ファミリー世帯※の不満率は堅調に低下している一方、単独世帯、高齢者世帯の不満率は10年 前と比べて横ばい又は微増。
- ③「住宅」に関して重要と思う項目の不満率を見ると、単独世帯(64歳以下)の「上下階や隣戸・隣室からの騒音などに対する遮音性」、ファミ 世帯の「広さや間取り」「防犯性」において持ち家と借家の不満率の差が大きい。 ※: 親と子供から成る世帯(長子17歳以下)

(1)住宅・居住環境の総合的な評価

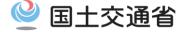
〈住宅・居住環境に関する総合評価(全体)の推移〉

〈住宅・居住環境別の総合評価(持借別)〉 〈住宅の重要と思う項目の不満率(家族類型別・持借別)〉



親と子供から成る世帯(長子17歳以下)

令和5年住生活総合調査結果(確報集計)のポイント(2/3)

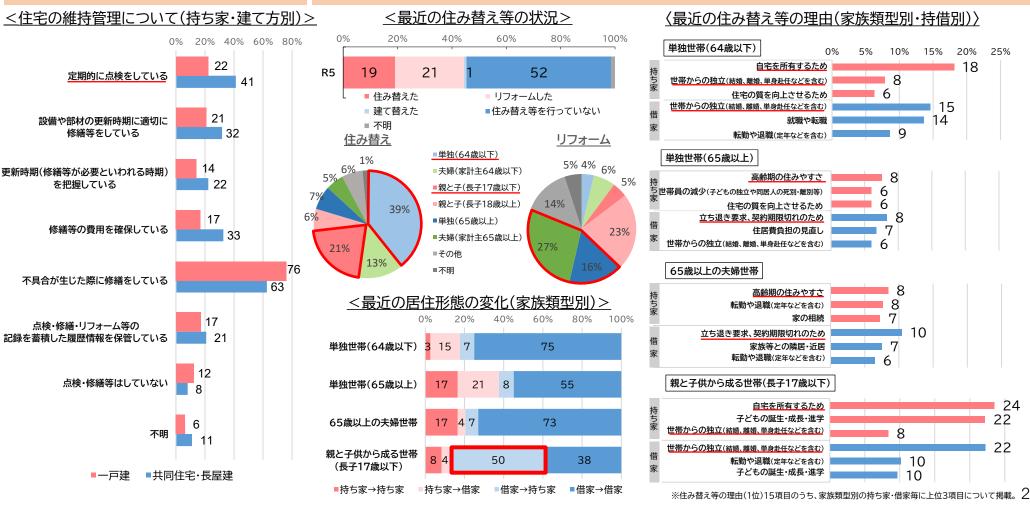


- ①一戸建の維持管理について、「定期的に点検をしている」世帯は約2割。
- ②最近(※1)の住み替え等の状況(※2)は、約2割が住み替え、約2割がリフォームを実施。住み替えた世帯を見ると、借家に居住する単独世帯 (64歳以下)、ファミリー世帯の住み替えが多く、特にファミリー世帯では「借家→持ち家」の割合が高い。
- ③<u>最近の住み替え等の理由は、単独世帯(64歳以下)、ファミリー世帯では「自宅を所有するため」「世帯からの独立」、65歳以上の世帯</u>では「高齢期の住みやすさ」「立ち退き要求、契約期限切れのため」が多い。

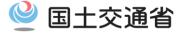
※1:平成31年1月から令和5年12月調査時点まで ※2:住み替え、リフォーム、建て替えを含む。

(2)維持管理の実態

(3)最近の住み替え実態



令和5年住生活総合調査結果(確報集計)のポイント(3/3)



- ①<u>今後の住み替え意向</u>は10年前と比べて<u>概ね横ばい。家族類型別</u>では、<u>借家</u>に居住する<u>単独世帯(64歳以下)</u>と<u>ファミリー世帯</u>の<u>住み替え意</u> 向の割合が高い。
- ②<u>今後の居住形態の意向</u>は、<u>現在持ち家、借家</u>の世帯ともに「<u>借家への住み替え」、「既存住宅への住み替え</u>」の意向が<u>増加</u>。
- ③<u>今後の住み替えのきっかけ・目的</u>は、<u>単独世帯(64歳以下)</u>では「<u>住宅の質を向上させるため</u>」、ファミリー世帯では「<u>子供の誕生・成長・進学</u>」が多く、<u>高齢者世帯</u>では、<u>持ち家</u>の世帯は「<u>高齢期の住みやすさ</u>」、<u>借家</u>の世帯は「<u>住居費負担の見直し</u>」の割合が高い。

(4)今後の住み替え意向 〈今後の住み替え意向〉 〈今後の居住形態の意向(持借別)〉 〈今後の住み替えのきっかけ・目的(家族類型別・持借別)〉 10% 20% 30% 40% 50% 0% 20% 40% 60% 100% 0% 20% 40% 60% 80% 100% 25 住宅の質を向上させるため 持 現在持ち家の世帯 H15 85 2 13 ち家 13 高齢期の住みやすさ 28 72 H15 世帯員の減少 12 単独世帯 68 (子どもの独立や同居人の死別・離別等 H25 16 16 (64歳以下) 住宅の質を向上させるため 20 借家 22 19 R5 59 就職や転職 20 80 H25 14 転勤や退職(定年などを含む 27 54 19 現在借家の世帯 H15 34 高齢期の住みやすさ 持 ち 住宅の質を向上させるため 10 23 H25 43 34 世帯員の減少 21 79 単独世帯 9 R5 (子どもの独立や同居人の死別・離別等 (65歳以上) R5 33 49 18 21 借家 ■住み替え意向がある ■住み替え意向はない 14 高齢期の住みやする 持ち家への住み替え 借家への住み替え ■その他 11 住宅の質を向上させるため 〈新築住宅・既存住宅の意向(持ち家)〉 <今後の住み替え意向(家族類型別・持借別)> 36 高齢期の住みやすさ 持 0% 20% 60% 80% 100% 0% 20% 40% 60% 80% 100% ち 15 住宅の質を向上させるため 現在持ち家の世帯 持ち家 20 80 9 14 38 H25 48 (子どもの独立や同居人の死別・離別等 65歳以上の 単独世帯(64歳以下) 借家 50 50 夫婦世帯 44 住居費負担の見直し 持ち家 9 91 12 家族等との同居 家 24 33 43 R5 単独世帯(65歳以上) 高齢期の住みやすさ 借家 78 22 25 子どもの誕生・成長・進学 持 92 持ち家 現在借家の世帯 ち家 H25 30 56 14 19 住宅の質を向上させるため 65歳以上の夫婦世帯 借家 26 74 11 親と子供から成る世帯 (子どもの独立や同居人の死別・離別等 (長子17歳以下) 持ち家 17 83 43 子どもの誕生・成長・進学 24 23 53 親と子供から成る世帯 R5 (長子17歳以下) 15 借家 70 30 自宅を所有するため 7 住宅の質を向上させるため ■ 新築住宅 ■ 既存住宅 ■特にこだわらない ■住み替え意向はない ■住み替え意向がある ※今後の住み替えの目的(1位)の15項目のうち、家族類型別の持ち家・借家毎に上位3項目について掲載。